



ほ う な い

第2号

村上市立保内小学校
強い心 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553



学習参観：4月26日（金）

「令和」の時代の始まりと学校における働き方改革

校長 須貝 学

新元号「令和」による、新しい時代が始まりました。先月の全校朝会で、子どもたちへ「令和には、朝会が美しく心を寄せ合う中で、『人々が美しく心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ』という意味が込められている」と子どもたちに話しました。そして学校は、まさに多くの人々が美しく心を寄せ合つて学び合い、お互いに高め合つていく場であり、令和にふさわしいと話しました。

この「多くの人々」とは、子どもと教職員だけでなく、保護者や地域の皆さんも含めてのことです。先日の学習参観、PTA総会、学校説明会、学年・学級懇談会でも、多くの保護者の皆様からお集まりいただきました。誠にありがとうございました。誠にありがとうございました。それによって、

新年度の学校の体制や新しい教職員の顔ぶれ、子どもたちの学びの様子、学校ではどんな教育を行おうとしているのか等について、保護者の皆さんに伝えることができました。これも昔から続く学校の一つの文化であるといえます。それと同時に、学校が今、地域や保護者の皆さんに正しく伝え、

理解と協力を得なければならぬことがあります。それが、学校説明会でも取り上げた、学校における働き方改革です。

学校における働き方改革を進める大きな目的は、「子どもと向き合う時間の確保」であり、教職員が心身健康な状態で、ゆとりをもつて子どもに向き合えることにあります。そして学校の働き方改革には、地域・保護者の方々との連携が欠かせません。そのためには、まず学校の現実をよく知ってもらふとともに、どんな連携が必要なのかを理解してもらうことが必要なのです。

まず、理解云々の前に、これまで学校の現実を伝えていないのも事実です。例えば、職員の正規の勤務時間が何時から何時までなのか、残業や休日に引率して業務に携わった時、手当は出るのか等ほとんど伝えることがありません。

このような学校の現状についても、今後はしっかりと伝えながら、学校における働き方改革を進めていきたいと考えます。